

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	分子細胞生物学		
英文授業科目名	Cell and Molecular Biology		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-基礎科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	長澤 純一		
居室	東6-908		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nagasawa@pc.uec.ac.jp	http://www.pc.uec.ac.jp/sp/nagasawa/

【主題および達成目標】
<p>【主題】あらゆる生命体の基本単位は細胞である。生命現象を化合物、元素、電子といったレベルに視点を置いて把握するため基礎として、細胞生物学と生物化学について考究する。</p> <p>【達成目標】 生体を構成する物質とそれらの機能および相互作用に重点をおきながら、「生命現象を物質に基づいて考えること」と「実際の生命現象」を関連づけられるような知識を深めることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
適宜資料を配布する

【授業内容とその進め方】
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．細胞の基本的構造と機能 2．生体分子の構造と機能 3．分子と代謝 4．細胞のシグナル伝達 <p>上記の内容についての基本的資料を配布し、それに沿って講義を行う。なお、後半はゼミ形式で研究報告</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

を課す。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

学事の発表テーマに沿って、十分な資料収集とプレゼンテーションの準備が必要になる。トータルでおよそ授業開講時間相当程度の予復習が必要である。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【成績評価方法】

出席状況（30%）および各自に課すプレゼンテーションの内容(70%)によって評価する。

【達成基準】

15分程度のプレゼンテーションを各自2回おこなう。WEBにて対外的に公表できる内容であることを合格の基準とする。したがって、出典や根拠が明確であり、単なる資料の写しでないことを最低限の条件とする。聴衆が理解しやすくオリジナリティのある内容を高く評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談を受け付けるが、事前にメール等で連絡を。

【学生へのメッセージ】

化学・生物系ではなかった学生にも配慮して授業進行するつもりである。

【その他】

特になし